

地域医療薬学

責 任 者・コーディネーター		臨床薬学講座地域医療薬学分野 松浦 誠 教授 臨床薬学講座臨床薬剤学分野 朝賀 純一 准教授	
担当講座・学科(分野)		臨床薬学講座（地域医療薬学分野、臨床薬剤学分野）	
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 20 時間 (10 コマ)
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

本講義では、地域社会における薬剤師の役割を実践的に理解することを目指す。疾病予防、健康管理、セルフケア、公衆衛生、環境衛生、食品衛生の観点から、地域住民の健康維持と生活環境の保全に寄与するための知識を理解する。また、薬剤師が多職種連携の中で果たすべき役割を具体的事例を通して学び、地域包括ケアの担い手として積極的に参画できる能力を涵養する。さらに、感染症対策や衛生指導、学校薬剤師の活動を通じて、地域における健康教育と啓発の重要性を理解する。加えて、災害時の医薬品供給体制や業務継続計画（BCP）、DMAT の役割を学び、平時からの備えと非常時の行動について実地的に考察する。これらを通じて、地域の健康課題を主体的に把握し、薬剤師として社会に貢献できる実践力を養成することを目的とする。

・教育成果（アウトカム）

地域住民の健康相談や介護・生活相談への対応について体系的に学修することにより、住民の訴えを的確に聴取し、薬局のファーストアクセスとしての意義を理解し、受診勧奨、救急時の初期対応、一般用医薬品の選択支援、生活指導などのプライマリケアを実践できるようになる。さらに、要指導医薬品・一般用医薬品、医療機器、衛生材料、保健機能食品等の特性と活用法を修得することにより、エビデンスに基づいたセルフケアおよびセルフメディケーション指導が行えるようになる。加えて、禁煙支援、口腔ケア、生活習慣病予防、プレコンセプションケアなどの地域住民の平時における健康増進の必要性を理解するとともに災害時の医薬品供給体制の確保や薬事調整など地域医療を実践するに際しての薬学的な役割を身につける。

(ディプロマ・ポリシー：1,2,3,5,6)

・到達目標（SBO）

- 健康相談、介護・生活相談等のファーストアクセスと薬局の役割について説明できる。
- 食生活(栄養管理・健康食品等)や運動等(基本的生活要因及び精神的要因)の評価・改善について説明できる。
- 地域住民からの健康相談における情報収集・臨床判断とそれに対応するプライマリケア(受診勧奨、救急対応、一般用医薬品等の推奨、生活指導等)について説明できる。
- 要指導医薬品・一般用医薬品、薬局製造販売医薬品、医療機器、衛生材料、特別用途食品、保健機能食品等を活用したセルフケア、セルフメディケーションについて説明できる。
- 地域住民の健康維持・増進に寄与する活動(禁煙指導、口腔ケア、生活習慣病予防、プレコンセプションケア等)について説明できる。
- 地域包括ケアを推進する在宅医療、介護予防・福祉に関する相談や地域連携活動について説明できる。

7. 地域住民の衛生管理(食中毒の予防、日用品に含まれる化学物質・農薬等の曝露や誤飲・誤食による中毒への対応について説明できる。
8. 地域における感染症予防、拡大防止等の対策と発生時の対応(感染症予防の啓発、消毒薬や衛生用品の供給確保と使用法の指導、ワクチン接種への主体的参画・貢献について説明できる。
9. 学校薬剤師による学内環境の評価と指導について説明できる。
10. 住民・児童生徒に向けた薬の正しい使い方や薬物乱用防止、アンチ・ドーピング活動、禁煙指導等に向けた教育・啓発活動や相談対応について説明できる。
11. 災害時を想定した業務継続計画(BCP)に基づく準備・災害時の初期対応(医薬品や衛生材料等の備蓄・供給等)、医療救援活動の心構えについて説明できる。
12. 災害時を想定した、地域医薬品等供給体制の整備や指導(災害薬事コーディネーター等)の重要性と具体的役割について説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/10	金	2	地域医療薬学分野	松 浦 誠 教 授	「地域医療における薬局および薬剤師の役割（総論）」 1. 地域医療における薬剤師の役割について概説できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に参考書を用いて調べること。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、授業内容をまとめること。
4/17	金	2	地域医療薬学分野	松 浦 誠 教 授	「地域住民の健康増進①プライマリケア」 1. 地域におけるファーストアクセスと薬局の役割について説明できる。 2. 生活習慣の評価・改善とプライマリケアの実践について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に参考書を用いて調べること。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、授業内容をまとめること。

4/24	金	2	臨床薬剤学分野	朝賀 純一 准教授	「地域住民の健康増進②セルフメディケーション」 1. 医薬品・資材の適切な選択とセルフメディケーションの支援について説明できる。 2. 多様なライフステージに応じた健康維持・増進活動の実践について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に参考書を用いて調べること。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、授業内容をまとめること。
5/15	金	2	地域医療薬学分野	加畑 智聡 非常勤講師	「在宅医療における薬学的管理①」 1. 地域包括ケアにおける在宅医療・福祉連携の実践について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に参考書を用いて調べること。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、授業内容をまとめること。
5/22	金	2	地域医療薬学分野	加畑 智聡 非常勤講師	「在宅医療における薬学的管理②」 1. 多職種との情報共有と地域連携の推進について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に参考書を用いて調べること。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、授業内容をまとめること。
5/29	金	2	地域医療薬学分野	岩井 正勝 非常勤講師	「在宅緩和医療の概要」 1. 在宅緩和医療の実践について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に参考書を用いて調べること。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、授業内容をまとめること。
6/5	金	2	地域医療薬学分野	松浦 誠 教授 野舘 敬直 非常勤講師	「災害時における地域医薬品等供給体制の重要性」 1. 災害時の業務継続（BCP）と迅速な初期対応の実践について説明できる。

					2. 災害時の医薬品供給体制の構築と災害薬事コーディネーターの役割や指導的立場について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に参考書を用いて調べること。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、授業内容をまとめること。
6/12	金	2	附属病院薬剤部	高圓 宰 薬剤師	「災害時における DMAT の活動」 1.災害時における災害薬事コーディネーターの役割について説明できる。 2.DMAT の活動について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に参考書を用いて調べること。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、授業内容をまとめること。
6/19	金	2	地域医療薬学分野	松浦 誠 教授	「学校薬剤師による学内環境の評価と指導と児童生徒に向けた教育・啓発活動」 1.学校薬剤師による学内環境の評価と指導について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に参考書を用いて調べること。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、授業内容をまとめること。
6/26	金	2	地域医療薬学分野	小原 道子 非常勤講師	「地域医療における薬局あるいは薬剤師としての実践」 1.地域住民の衛生管理(食中毒の予防、日用品に含まれる化学物質・農薬等の曝露や誤飲・誤食による中毒への対応について説明できる。 2.地域における感染症予防、拡大防止等の対策と発生時の対応(感染症予防の啓発、消毒薬や衛生用品の供給確保と使用法の指導、ワクチン接種への主体的参画・貢献について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に参考書を用いて調べること。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、授業内容をまとめること。

参考書・参考書等（教：参考書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	社会と薬学（新スタンダード薬学シリーズ 第2巻）	新スタ薬シリーズ編集委員会編	東京化学同人	2024
参	今日のOTC 薬改訂第6版 現場で役立つ知識と商品選択のコツ	伊東明彦・中村智徳／編	南江堂	2024
参	新ビジュアル薬剤師実務シリーズ 上 薬剤師業務の基本 〔知識・態度〕第4版	上村 直樹、武田泰生／編	羊土社	2025
参	新ビジュアル薬剤師実務シリーズ 下 調剤業務の基本 〔技能〕第4版	上村 直樹、武田泰生／編	羊土社	2025

・成績評価方法

総括評価：定期試験（MCQ90%）、小テスト（MCQ10%）

・特記事項・その他

<事前学修・事後学修のポイント>

- ① 事前学修については事前に配布される講義ポートフォリオの課題について取り組むとともに、予定されている到達目標の内容に関して予め参考書等を読んでまとめる。
- ② 事後学修は講義ポートフォリオの振り返りを中心に予習内容、授業内容の要点・課題について整理し授業内容について理解できるようにすること。これらの学修には事前学修 45 分、事後学修に 45 分を要する。更に定期試験前には 10 時間程度（1 講義あたり 1 時間程度に相当）の総復習時間を確保する必要がある。
- ③ 講義は参考書を基に担当教員が作成したスライドを用いて行う。講義で使用するハンドアウトは当該講義の 1 週間前を目処に Moodle にて PDF 形式のファイルを配布する。印刷媒体については講義開始時に配布を行う。
- ④ 授業終了時に講義内容に関する講義内容確認小テストを実施する。実施方法は、スマートフォン等で QR コードを読み取り Google Forms に開設したフォームに必要事項を回答する。このフォームには自由記載欄があり、教員への質問や要望を伝えることができるようになっており、適宜フィードバックする。インターネット接続および QR コード読取可能なスマートフォンあるいはその類いを準備すること。小テストは講義終了 5～10 分前を目処に授業出欠確認を兼ねて実施する。小テストの結果および解説については次回講義開始時もしくは講義中に適宜フィードバックする。
- ⑤ 定期試験については定期試験終了後に Moodle 等の ICT を活用してフィードバックする。
- ⑥ 当該科目に関連する実務経験の有無 有
岩手県内の総合病院および大学病院における薬剤師の実務経験を有する教員が、講義内容に関連する実践的な教育を事例提示しながら行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
------	----------	----	------

講義	パソコン（Apple MacBookAir ）	1	スライド投影のため
講義	パソコン（Apple MacBookPro ）	1	スライド投影のため
講義	タブレット端末（機種は問わない）	1	講義資料（PDF 形式）閲覧のため
講義	スマートフォン（機種は問わない）	1	講義終了時の小テストおよび出欠回答のため